※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １００５ |
|---|---|

# 令和５年度　（学）国際教養

| 教科 | （学）国際教養 | 科目 | (学)中国語文化研究 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 中国語はじめの一歩 | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中国の言語と文化に触れることで世界観を広げることを目標とします。中国について学ぶことで日本と中国の関係や、海外から見た日本というものを考えるきっかけにしてください。

## ２　学習の到達目標

・中国語の発音をマスターし、簡単な楽しい使える会話の技能を身につける。
・中国語を用いて自分の考えを表現したり、文化について学んだことをまとめて表現する力を養う。
・中国の文化・社会について学び、日本との関り方を考える態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるアウトプットやコミュニケーションの場面に応じて、適切に活用できる技能を身に付けている。 | ・コミュニケーションを行う状況や目的に応じて、日常的な話題、時事問題や社会問題について、中国語で情報や考えを理解し、また相手に伝える事ができる。 | ・中国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手を尊重し、配慮と思いやりを忘れず、自分の発信する情報に責任を持ちながら、主体的・自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 中国語とは？ | 中国について：面積、民族、通貨、方言、文字、発音記号などについて紹介する。<br>自分の名前を中国語で書き、発音する。 | a: 中国語の音声の基本的な特徴を理解している。中国語の文法を身につけ、簡単な文章を作成することができる。<br><br>b: 中国の文化や習慣について，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。<br><br>c: 積極的に中国語を使おうとする姿勢を見せるとともに、中国の文化を理解しようとしている。 | ワークシート | ワークシート<br><br>レポート | ワークシート<br><br>レポート<br><br>行動観察 |
| | 第1課 | 人称代名詞、指示代詞　～です、～ではない、一般疑問文。 | | | | |
| | 第2課 | 疑問詞疑問文 | | | | |
| | 第3課 | 動詞述語文 | | | | |
| | 第4課 | 形容詞文、数量詞 | | | | |
| 2学期 | 第5課 | 時間・日付・曜日の言い方<br>自分の誕生日や干支年齢の練習。 | | | | |
| | 第6課 | 助動詞・完了の表現・「有」と「在」の表現や区別。 | | | | |
| | 第7課 | 反復疑問文 | | | | |
| | 第8課 | 時間の量と前置詞１ | | | | |
| | 第9課 | 過去の経験の表現と前置詞２ | | | | |
| 3学期 | 第10課 | 助動詞２ | | | | |
| | 第11課 | 様態補語・動詞の重ね方<br>進行形・選択疑問文・連動文 | | | | |
| | 第12課 | 比較の表現・総まとめ | | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度